



サイコウ sci-甲! サイエンス 甲南高校

担当：後藤・濱洲(1年1組), 中尾・柳田(1年3組)

1 2学年課題研究発表会



2月2日(木), 2学年の課題研究発表会が体育館で行われました。80グループのポスター発表と代表3グループのスライド発表がありました。どの班の発表

も、専門用語などを用いて詳しくまとめられていました。

ポスター発表の「産業廃棄物と埋め立て地」をテーマに発表した班では、産業廃棄物の埋め立て地を利用するための方法について研究していました。インターネットでは得られる情報が少なかったため、県庁に訪問し産業廃棄物の処理や埋め立て地の現状をうかがったり、産業廃棄物に関するデータなどを集めていました。実際に産業廃棄物を企業からもらい紙コップに土と産業廃棄物の割合を変えて入れたものを用意し、水を入れ水が一定量出てくるまでに必要な振動数の調査や、水はけのよさ(どれだけの水が出てくるか)などの実験を行いました。研究テーマに関するデータや現状を知るためにも、県庁に行って直接話を聞いたのは効果的だったそうです。

また、「水問題による被害を削減するには」をテーマにした班では、甲南高校の生徒によるアンケート回答を大使館のホームページから送り、国を超えて国際的な問題解決に取り組んでいました。そして、フィリピンなど回答してもらった国の方策を身近なものに活用できないか試行錯誤していました。

発表会では鹿児島大学の先生方に講師として参加していただき、様々なアドバイスをいただくことができました。理



代表グループのスライド発表

学部の鬼束先生は、これから課題研究を行う私たちにに向けて「研究において楽しむことと、失敗しても新しい事実だと肯定的にみて課題研究発表会で気づいたことを議論し自分の考えをまとめることが大切だ」と、講評されました。

2 「学びに UK」 海外研修

「学びに UK」の研修生が出発前にどのような事前研修を行ったか、2年生の研修生5名にインタビューを行いました。その内容を紹介します。

1. 研修先で何をしたいか

「海外に行くという貴重な経験なので、異文化理解を深めたい」「英語力を高めたい」といった声がありました。また、「SSH の活動の一環であるので、課題研究のために良い意見を取り入れたい」といった意見がありました。どの研修生も自分を高める熱意が感じられました。

2. 研修に向けてどんなことを頑張っているか

海外研修に行くにあたり、現地に合わせたプレゼンの練習、ALT や ESS の先生方とのディベート、家庭での英語使用などを通じて様々な準備をしたそうです。今回、海



三角ディベートの様子

外研修生は現地の大学で SSH の発表をします。毎週木曜日に行われた放課後講座では、研修生のみで「三角ディベート(主張と反論を英語で繰り返しコミュニケーション能力を高める)」とよばれるものを行って、現地で深い交流ができるよう準備しました。

3. 意気込み

「貴重な機会なので色んなものを学びつつ楽しみたい」「かけがえのない経験なので、楽しむことも大切にしながら自分自身を高めていきたい」等、ほとんどの研修生が貴重な機会を楽しみたいと話していました。



講師をお招きして特別放課後講座

研修生の皆さんがこの海外研修を通して自分自身の糧となるものを吸収し、この機会を精一杯楽しむことを心から祈っております。インタビューにご協力頂いた2年生の先輩方、本当にありがとうございました！